



令和2年度 長沢中学校 学校評価報告

令和3年3月

学校長 星野 嘉朗

このたびは、学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校評価アンケートは、①開かれた学校づくり ②教育活動、内容の質の向上 ③学校の活性化 ④教職員の資質向上を目的として、全校生徒、保護者を対象に実施しました。アンケート結果について、ここに報告させていただきます。

<評価アンケート実施対象者と回収率>

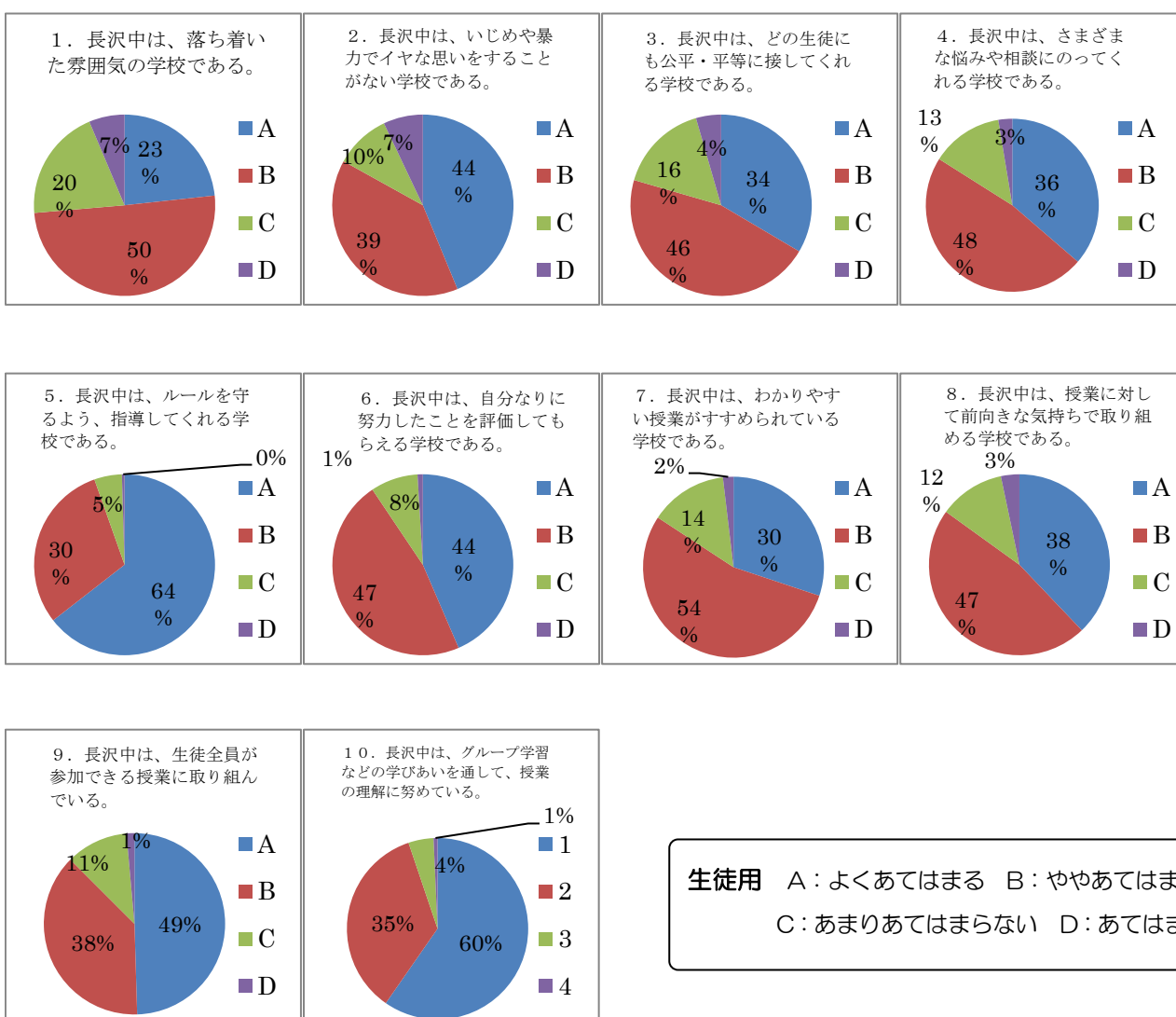
生徒による評価の回答数

1年生	158名 (在籍 163名)	96.9%
2年生	128名 (在籍 144名)	88.8%
3年生	123名 (在籍 126名)	97.6%
5・6組	16名 (在籍 16名)	100%
回答数	425名 (在籍 449名)	94.7%

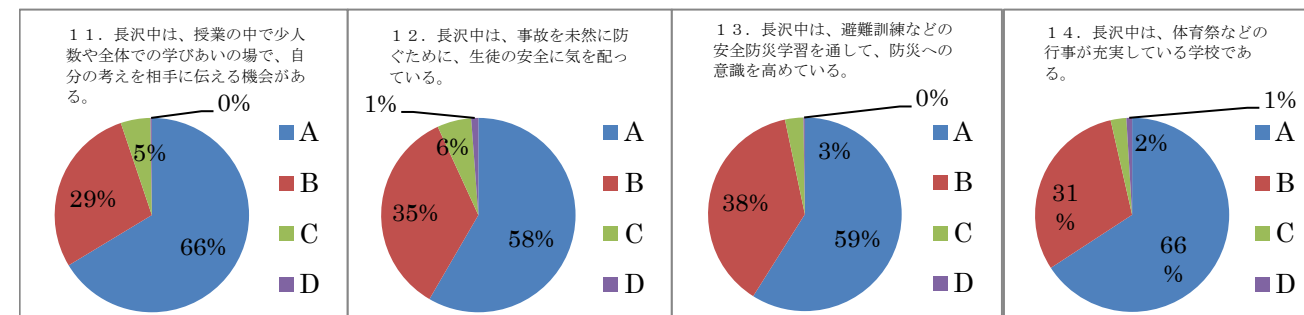
保護者による評価の回答数

1年生	151名 (在籍 163名)	92.6%
2年生	132名 (在籍 144名)	91.7%
3年生	124名 (在籍 126名)	98.4%
5・6組	11名 (在籍 16名)	68.8%
回答数	418名 (在籍 449名)	93.1%

<生徒用アンケート集計結果>

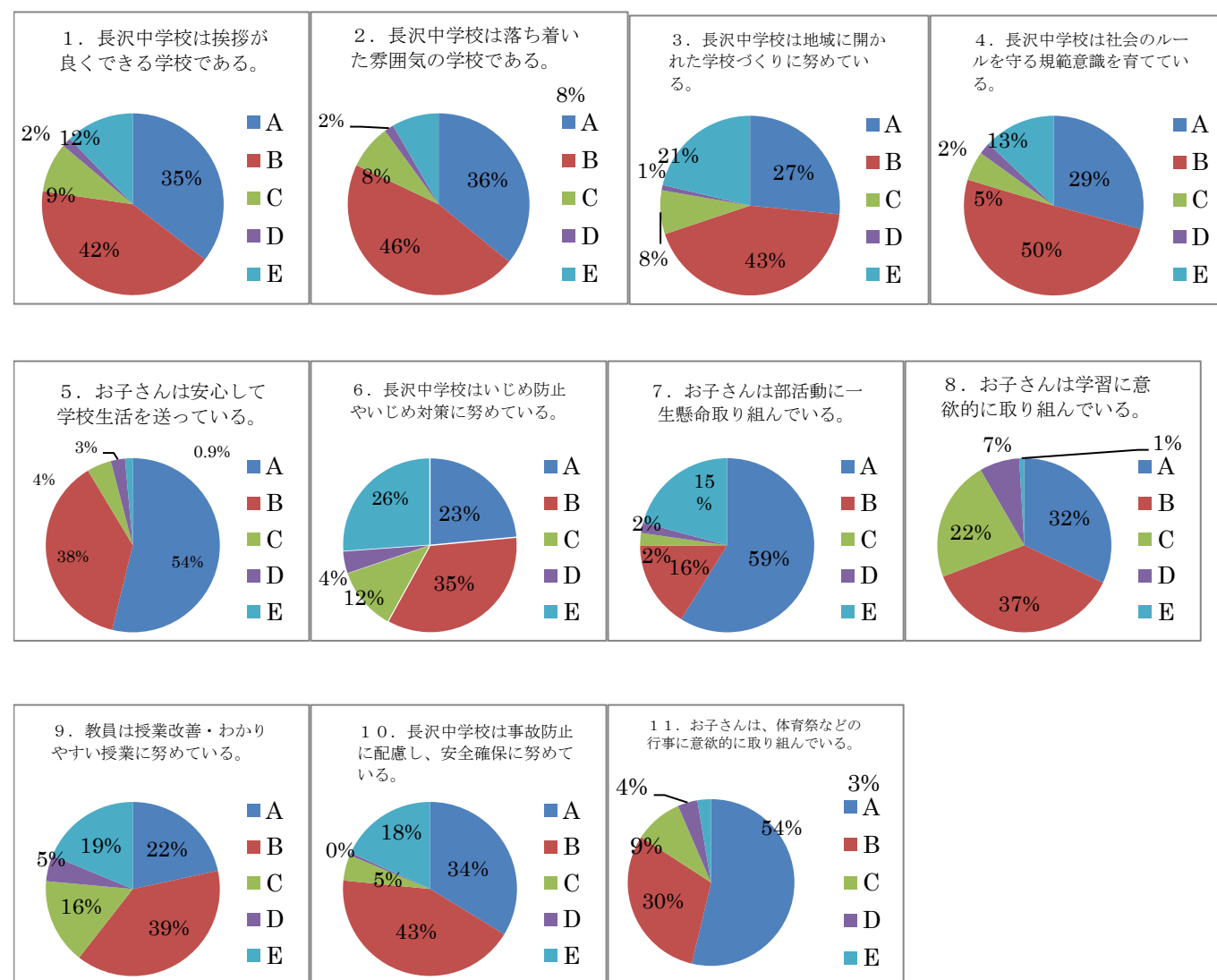


生徒用 A：よくあてはまる B：ややあてはまる
C：あまりあてはまらない D：あてはまらない



<保護者用アンケート集計結果>

保護者 A：よくあてはまる B：ややあてはまる
C：あまりあてはまらない D：あてはまらない
E：判断できない



自己を高め、他を思いやり、自立できる生徒を育てる

【学校長より】

*今年度は、コロナ禍の影響を受け、学校の動き全体が多くの制約を受けながらの1年間でした。行事の縮小・中止もあり、学習面だけでなく学校生活を通して育てられる力の育成は十分に行うことができなかったと判断しています。また、保護者・地域にの皆様が学校を開くことが難しい状況でもあり、生徒の姿を通してのみ、学校の現状を判断していただくしかありませんでした。そのような中で、フロンティア研究委託校として2年目となり、授業のスタイルも少しずつ「自ら学ぶ」方向へ転換しようとしています。生徒アンケート7～11の授業に関わる項目では昨年度に比べて、良い結果となっています。次年度、新学習指導要領の完全実施となり、さらに授業のスタンダードの確立に向けて研究を進めていきます。

*昨年度も課題となっていた「落ち着いた雰囲気」についてのポイントは上昇していますが、まだ2割を超える生徒が否定的な回答をしているところに、次年度も目を向け、日常の指導を丁寧に行うだけでなく、保護者の皆様との信頼関係の醸成に努め、安心・安全で一人ひとりに居場所のある学校づくりを進めてまいります。

【教務】

*今年度は体育祭は縮小して行い、合唱コンクールは中止になってしまいました。しかし、生徒の回答は、「充実している・やや充実している」という肯定的なものが97%を占めています。縮小された行事の中でも、生徒たちは活動に充実感を持っていたことが分かります。一方、保護者の方は、「充実している・やや充実している」が、昨年度より94%から84%まで下降しています。それは、体育祭も3年生の保護者のみの参観にさせていただき、評価すること困難だったことが原因と考えられます。それを差し引いても高い水準を保っているのは、次年度以降の期待も込められていると思いますので、長沢中の伝統を守りつつ、それに応えられるように体制を整えます。

*今年度は授業参観や学校へ行こう週間は、全く実施できませんでした。次年度からは、保護者のご理解とご協力を得て、開かれた学校と豊かな教育を提供できるよう努力していきます。

【生活】

「長沢中は落ち着いた雰囲気の学校である」の設問に対して、前年より肯定的な回答が増えているものの、4分の1を超える生徒が「落ち着いた雰囲気」でないと感じていることを重く受け止めています。「いじめや暴力でイヤな思いをすることがない」「公平・平等に接してくれる」「悩みや相談に乗ってくれる」「ルールを守るよう、指導してくれる」は、肯定的な回答が増えており、現在の指導が効果を上げてきていることのあらわれと考えられ、より一層細やかな指導や見守りをつづけ、生徒が安心して通学できる、安全な学校を実現していきたいと思います。

保護者の回答の中で、「安心して学校生活を送っている」「部活動に一生懸命取り組んでいる」は前年と変わらず肯定的な回答が多くありました。一方、「挨拶がよくできる学校である」「社会のルールを守る規範意識を育てている」について、肯定的な回答が減っています。今年度は学校行事等、外に出かける活動の中で挨拶力や規範意識を育てる機会が減ったこともありますが、普段の学校生活の中でも、全職員がより意識して取り組むべきことであると考えています。今後とも、地域の中で生きる、自立した子どもを育てられるよう努力をしてまいります。

【学習】

*評価・評定についてや努力したことを評価してもらえ、満足している生徒については、90%程度の生徒はおおむね満足し納得している評価でした。評価項目の配布や教科面談などを活用し評価について示せたと思います。ただ、学習意欲を高めることや、わかりやすい授業の点で15%を超えた生徒が不十分となっています。改善はされていますが、学びへの意欲を大切にした授業や家庭学習の定着を行っていきます。(生徒アンケート6、7 保護者アンケート8、9)

*今年度も、学校全体で授業改善を行い、生徒の「主体性」や「学び合いの場の活用」を重視して取り組んできました。その結果として、『全員が参加できる授業』と『グループ学習などの学び合い通しての授業理解』については多くの生徒がその取り組みを実感していると答えています。このような授業の流れや取り組みが、生徒の学習意欲へとつながるように、さらに授業改善を行う必要があり、努力していきます。(生徒アンケート8、9、10、11)

【支援】

*「3、どの生徒にも公平・平等に接してくれる学校である」(生徒)で80%、「6、自分なりに努力したことを評価してもらえ」(生徒)で90%が肯定的な意見でした。指導や評価に対し生徒と教師の間で大きなズレはないと推測できます。今後も、対話する時間を大切にし、生徒一人ひとりへの理解を深めていきたいと考えています。

*「4、さまざまな悩みや相談に乗ってくれる」(生徒)では、よくあてはまる、ややあてはまるは合わせて84%でしたが、今後も相談しやすい雰囲気づくりをするとともに、生徒との信頼関係を大切にしながら、相談しやすい相手に相談できる人間関係づくりに努めていきます。

*「6、いじめ防止やいじめ対策に努めている」(保護者)では、判断できないが26%、否定的な回答が16%、「2、いじめや暴力でイヤな思いをすることがない」(生徒)では否定的な回答が17%でした。この現状を踏まえ、いじめを許さない、いじめのない学校・学級づくりを目指し、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送れるよう、さらに人とのつながりや環境を整えられるよう今後も努力していきます。

【管理・運営】

*事故防止・安全確保については、生徒93%、保護者77%と良い評価の見解の違いが生じています。保護者の方が今年度は学校に来校する機会が減り、学校の様子がよくわからない方が多くなってしまった気がいたします。次年度は来校する機会が減少していても広報誌などで学校の様子をもっと伝えていけたらと思います。(生徒アンケート12、保護者アンケート10)

*避難訓練などの防災学習については、生徒97%が防災への意識を高めているという回答でした。長沢中では年度当初3回の避難訓練を予定しておりましたが、1回目は5月の休校期間で中止となりました。2回目、3回目はグラウンド改修のため各学年ごとに集合場所を変えての訓練を行いました。(授業中設定と休み時間設定)短い時間での訓練でしたが、ここ最近どこで自然災害が起こるのかわからないので、生徒たちは真剣に行っていました。(生徒アンケート13)